

日本を豊かに、強く。を合い言葉に

ひやくたなおき ありもとかおり

百田尚樹と有本香が2023年に設立。

日本ほど素晴らしい国はありません。その日本がいま内外から壊されようとしています。愛する日本を守りたい、私たちはそのために立ち上がりました!

日本保守党って
どんな党?



衆議院議員
福井県立大学名誉教授

島田洋一



参議院議員 / 弁護士

北村晴男



事務総長
ジャーナリスト
有本香

代表 / 参議院議員
小説『永遠の0』著者
百田尚樹



組織運動本部長
元 仙台市長
梅原克彦

最優先
政策

食料品の
消費税ゼロ

再エネ
賦課金廃止

移民政策の
見直し

その他の
政策は裏面

比例得票数
1,145,622票
比例得票率
2%
最短で国政政党になりました!

2024
衆院選



2025
参院選

比例得票数
2,982,093票
比例得票率
5%
共産党を抜きました!



フォロワー数
34.8万人
自民党に次いで2位



関連動画再生数
累計5億回以上



党員数
7万人



一騎当千の議員が
国会で活躍!

他党が触れない重要問題を提起

島田洋一衆院議員が、夫婦別姓法案の不備を突いて法案通過を阻止。
百田尚樹参院議員が、拉致問題特別委員会で朝鮮総連の未返済債務566億円、遅延損害金594億円を明らかに。
北村晴男参院議員が、中国人留学生の「秘密の誓約書」や反日教育に関連して帰化のあり方の根本を質した。



全国各地で街頭演説会開催
どこも人人人の大盛況



Pick
Up

百田尚樹代表が
台湾の外務大臣
林 佳龍氏と会談



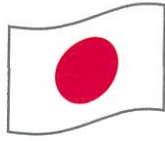
にっぽんほしゅう
日本保守党

機関誌 日本保守党通信 11 《号外》



日本を豊かに、強く。日本保守党の重点政策項目

1 日本の国体、 伝統文化を守る



1. 皇室典範を改正し、
宮家と旧宮家との間の養子縁組を可能にする。
2. 歴史的建造物の木造復元推進
(例:名古屋城天守閣など)
3. LGBT理解増進法の改正
(特に児童への教育に関する条文削除)

2 減税を通じた 経済活性化



4. 食料品(酒類含む)の消費税率を
恒久的にゼロ%にする。
5. ガソリン税、軽油引取税の減税。
6. 所得税減税——働き控えを生む各種「壁」解消、
控除額の引き上げ。
7. 地方税(住民税)減税を全国で推進。

3 安全保障



8. 憲法9条改正(2項削除、自衛のための実力組織保持明記)
9. 自衛隊法改正(自衛隊の名称をふさわしいものに変更。
在外邦人、日本協力者の救助を可能にする)
10. 海上保安庁法改正
(諸外国のコストガードと同等の対処力を保持する)
11. 「スパイ防止法」の制定、諜報専門機関の設置及び関連法整備。
12. 防衛研究への助成促進、防衛産業への政府投資の促進。
13. 安全保障上の脅威となる外国勢力による
不動産(特に土地)買収の禁止。

4 外交



14. 価値観外交——自由、民主、法の支配、
人権等の価値観を共有する国とのさらなる連携強化。
15. 中国など周辺諸国での人権問題解決に向けた積極的
な働きかけ(日本版ウイグル人権法、強制労働防止法制定)
16. 北朝鮮拉致問題解決のために、圧力強化、
国際連携強化の先頭に立つ。
17. 日本版「台湾関係法」「台湾旅行法」制定。

5 議員の家業化を やめる



18. 国会議員の歳費、地方議員の報酬を一般国民の
給与並みに引き下げ。
19. 政党交付金を諸外国の例に鑑み、半額程度に
引き下げる法改正。
20. 資金管理団体の「世襲」禁止。

6 移民政策の是正 ——国益と安全を念頭に置く



21. 入管難民法の改正と運用の厳正化。
22. 経営・管理ビザの見直し。
23. 特定技能2号の拡大や家族帯同を許す
現在の政府方針を抜本的に見直す。
24. 健康保険法・年金法改正
(外国人の健康保険・年金を別立てに)

7 エネルギーと産業政策

日本の優れた省エネ技術の活用。
過度な再エネ依存の見直し



25. 再エネ賦課金の廃止。
26. エネルギー分野への外国資本の参入を禁止する法整備。
27. わが国の持つ優れた火力発電技術の有効活用。
28. 電気自動車への補助金廃止(日本の自動車産業に不利益をもたらさない)
29. 農林水産行政の抜本的見直し(就業人口の増大と増
産、国内産品の国内消費の強力推進)

8 教育と福祉



30. 教科書検定制度(特に歴史)の
全面的見直し(現行制度の廃止)
31. キャリア教育の拡充、専門学科(商業科、工業科、高専、農業科など)の無償化。
32. 内申書制度の改善、学校カウンセラー導入促進。
33. 少子化による「大学余り」の解消。補助金を減らし統廃合促進。
34. 留学生制度の見直し(安全保障の観点から出身国を厳選する)
35. 男女共同参画事業に関する支出の抜本的見直し。
36. 出産育児一時金の引き上げ(国籍条項をつける)
37. 共同親権制度の導入(民間法制審案を軸に)

日本保守党で、ともに挑戦しよう! 日本保守党 党員募集中 お申込みは公式サイトから

